

# 公園の風景

## ～ カルガモの妊活 ～

潮が引いた干潟でカルガモたちが何かを漁っています。一般にカモ類は北帰行の前になると長旅と繁殖に備えて、体力増強と栄養補給のためにカ二等の動物質の餌を食べます。公園でも3月に入ると干潟に降り立ち、頭を出したヤマトオサガニなどを啄ばむカモたちの姿が見られます。だが、留鳥とされるカルガモには体力増強も栄養補給も必要ないだろうと思いますが、彼らも繁殖期を前に体力増強・栄養補給が必要なのでしょう。彼らは繁殖期を前にただいま妊活に励んでいるのです。せっせと食べて栄養をつけて、卵を産みかわいい赤ちゃんを沢山育ててほしいものです。



## ～ カワセミの夫婦、新居の建設は難航 ～

今年もカワセミの営巣用の人工壁が用意されています。3月上旬になって雌雄のカワセミが交代で巣作りを始めていました。土壁めがけて飛び、嘴を壁面に突き立てては穴を穿とうと一生懸命頑張っていました。しかし、3月下旬になっても巣穴は完成をみていません。この人工壁は園路に近いため足音や話し声で巣作りに集中できないのが新居完成を妨げている原因の一つのようです。早くステキな巣ができるよう静かに見守りましょう。

## ～ 12年ぶりの迷鳥オオモズ ～

今春は珍しいお客さんが来ていました。スズメ目モズ科モズ属の旅鳥オオモズです。ユーラシア大陸北部、インド・アフリカの中部で繁殖し冬季は南方で越冬します。日本には稀に旅の途中しばらく休息地として立寄ります。頭から背にかけては灰色で腰の部分が白く、目を通る太くて黒い帯があります。嘴は猛禽類らしく鉤状をしてモズ特有のハヤニエつくりをします。名前のとおり一般的なモズより一回り大きく、ヒバリ、ツグミなどの小鳥やネズミなどの小型哺乳類も捕食します。

北海道では良く見かけられますが当地方で観ることは極めてまれです。公園には12年前に一度来という記録があります。いまはもう飛び去った後ですが、3月上旬には多くのバードウォッチャーやカメラマンたちを楽しませてくれました。